



五中だより



第1号
令和2年4月10日
調布市立
第五中学校



〈学校住所・電話番号〉
〒182-0035 調布市上石原三丁目二十七番地一
電話 〇四二(四八四)二二二一

入学、進級おめでとうございます

校長 生田 目将

(入学式辞原文より一部抜粋・式の時間短縮により実際は簡略化)
「新入生の皆さん、保護者ご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、先日の小学校での卒業式に引き続き、本校入学式も例年にならない形での実施となりました。大変申し訳なく、そしてご理解ご協力に感謝申し上げます。もとあれ本日、入学式が行えましたことは本当に良かったです。五中では二七三名のみなさんの入学を楽しみにしていました。」

(この後に本校の教育目標と校章について紹介を行いました。)
最後に、子どもから大人へ大きく近づく中学校卒業までに、必ず理解実行してほしいことを伝えます。それは「何事も人のせいにはしない自分」になること。「他人のせいにはせず、自分ごとと捉える」ことです。

何かにつけ、相手や自分以外のことに原因を押し付ける・すり替えることを人はしがちです。そうすれば、自分が楽ですから。でもそれでは何も変わらず、本当の意味での解決ではありません。学習のこと・友人関係のこと・家庭のことなどについて、自らの手で、より良いものにしていく、課題があれば自分自身で解決できる人になってほしい。中学校卒業までに、そうなれるかはその後の人生を大きく左右します。「以上式辞より」

さて、本校の令和二年度が始まりました。本年度の教育の基本方針に、「生徒第一主義」と「良好な学習集団づくり」を掲げ、「自ら学び、心と体を鍛え、思いやりをもって助け合う五中生」を育ててまいります。

歓迎の言葉

三年 黒木 奈帆

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。私たちは、みなさんの入学を心から歓迎します。今、みなさんは、これから始まる中学校生活への大きな期待とそれと同じくらい大きな不安の

中、この場に座っているのではないのでしょうか。同時に、長引く休校に大きな戸惑いを感じていることと思います。それは私たち2、3年生も同じです。当たり前の日常や健康な生活がこんなにも大切なものだったことに、今、改めて気づかされています。

(教科の紹介・・・)

さて、五中には生徒たちが楽しみにしている三大行事があります。体育大会では、個人の力はもちろん、クラスの団結力が問われます。クラス全員が一つのバトンを最後までつなぐ全員リレー。クラスで作戦を考え、協力する学年種目。どの学年もとても熱く、盛り上げられます。合唱コンクールでは、実行委員、曲、指揮者、伴奏者などすべて自分たちで決めます。授業やクラス練習、朝練、放課後練習もあります。本番は調布グリーンホールで行います。練習していくうちに、声と気持ちがそろってきて感動的な歌ができてきます。練習の過程はとても貴重なものです。本番でクラスが一丸となった歌は感動をよびます。学習成果発表会は、普段の授業での取り組みを保護者や地域の方々にも知ってもらえる一年に一回の場です。三月に行われます。

また、みなさんの中には、部活動や委員会活動を楽しくしている人も多いことでしょう。部活動では学年を超えた様々な人と関わることでできます。仲間と色々な試練を乗り越えた日々は何にも変えることのできない、かけがえのないものになります。感動や喜び、楽しさがとても大きいです。毎日の部活動が何より楽しいという人もたくさんいます。委員会活動では、各委員会が「五中のためにできることは何か」を考え、実行しようと日々活動しています。

中学校という新しい環境で、不安や分からないこともあると思います。そんな時は、先輩や先生方に相談してみてください。きっと解決につながっていきます。三年間はあっという間に過ぎてしまします。だからこそ、どのように三年間を過ごしたいのか、目標を立てて生活しましょう。今日から皆さんは五中生です。私たちの仲間です。ともに、笑顔のあふれる五中にしていきましょう。

誓いの言葉

新入生代表 大畑 明澄香

桜の花びらが舞い始める春、私達は調布市立第五中学校に入学します。

新型コロナウイルスの感染が危ぶまれている中、本日はこのような立派な入学式を行って頂き、ありがとうございます。

小学校卒業前、私達は突然、臨時休校という思いがけない経験をしました。友達と会えない寂しさ、授業をクラスメイトや担任の先生ともう二度と受けられない悲しさ、「友達とあんな事をしてあげれば良かった」、「学校が続いていたらこんな行事があった」等、様々な思いがありました。私は、小倉百人一首の競技かるたをしています。「ながららへば、またこのごろやしのばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき」歌の意味は、「生き長らえたならば、辛いと思っている今日この頃も、懐かしく思い出されるのだろうか。あれ程辛いと思っていた昔が、今となっては恋しいのだから」という意味です。将来、中学校生活を懐かしく振り返る事ができる様、一日一日を大切に、勉強や部活動に励んでいきたいです。

先生、(並びに来賓、) 保護者の方々、これから私達はしっかりした中学生になれる様、努力して参りますので、優しく、時に厳しく私達にご指導宜しくお願いいたします。



離任されたら先生方から

「五中生の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さんへ」
皆さんにきちんとごあいさつをできずに離任することになってしまい、本当に失礼してしまっただと思っております。遅ればせながらご報告しますが、四月一日から府中市立府中第二中学校で勤務しております。生徒の皆さん、「やさしい言葉の五中生」の合言葉をいつも意識して、温かく居心地のいい学校を維持してください。保護者の皆さん、地域の皆さん、本当に長い間お世話になりました。心からお礼を申し上げます。教員と校長という立場でしたが、私にとっては皆さんの関わりの中で本当に多くのことを学びました。そんなことから、五中とこの地域は母校だと思っております。皆さんには、引き続き五中を愛し続けてほしいと思っております。よろしくお願いたします。最後にになりましたが、五中のますますの発展をお祈りし、心からエールを送ります！さようなら。
府中市立府中第二中学校 校長 高汐 康浩

五中には、五年間お世話になりました。この間、特に施設の充実には目を見張るものがありました。体育館の建て替え、テニスコート新設、特別教室のエアコン。普通教室のプロジェクト設置等、より良い学習環境への取組が着々と進められました。五中生の皆さんは、この恵まれた環境の中、多くのことを学び、ぐんぐん成長しております。このような環境に感謝しながら、これからも更なる成長を続けてほしいと願っております。ありがとうございます。
調布市立第四中学校 校長 生野 まゆみ

母校の調布五中に異動することが決まった時、奇跡は起こるのだと思いました。五中で過ごしたこの四年間、大変な時も楽しかった時もそばにいてくれたのは、五中の愛情あふれる先生方とかわい後輩(生徒)達でした。幸せな時間を本当にありがとうございました。良い学校をつくるために大切なことは「人のつながり」だと私は思っています。どうかこれからも皆さんの手で五中をより良い学校にしてください。お世話になりました。
調布市立調布中学校 主任教諭 佐藤 真由

この度、練馬区立関中学校に異動になりました。社会科の先生でしたが、卒業した三年生だけに授業していたので、一、二年生のみなさんは顔は知っていますぐらいでしょう。調布五中では、約八年過ごしました。五中の生徒は元気いっぱい、いつも笑顔で挨拶してくれました。また、合唱は特に素晴らしく、行事などで校歌を聴くときなどに、いつも「素晴らしいな」と感心していました。調布五中には素晴らしい先生方、地域の方々がいらっしやいます。ぜひみなさんが中心になって、新入生とともに調布五中を発展させていってください。
練馬区立関中学校 教諭 松下 知敬

離任された先生方からその2



初めて「学校の先生」になってから八年間という長い月日を、調布五中でお世話になりました。当時はまだ新校舎がなく、南校舎に特別教室があり、制服は紺色のブレザーでした。右も左も分からなかった私が今日まで頑張ってきたのは、保護者や地域の方々、そして明るく元気な五中の生徒のみなさんの支えがあったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

町田市立南成瀬中学校 教諭 橋詰 貴

第五中学校ではとても多くのことを学ばせていただきました。生徒たちと楽しい中学校生活を送ることができました。3月が休校となり、皆さんとの最後の一か月を過ごせなかったことがとても残念です。当たり前の日常も、いつ何が起こるか分からないことを改めて実感します。一日一日を大切に過ごしていこうと思います。今までありがとうございました。

多摩市立聖ヶ丘中学校 教諭 山田 孝保

朝から練習を重ね、チームワークを競い合った体育大会、美しいハーモニイを聞かせてくれた合唱コンクール、地味な練習を繰り返す部活動。五中生の頑張る姿に元気をもらい、すばらしい職員の皆さんと共に仕事が出来たことは、とても幸せでした。「やさしい言葉の五中生」いつも応援しています。ありがとうございました。

調布市立第二小学校 事務 西沢 勝子

昨年の十月に着任して六ヵ月間でしたが充実した毎日でした。保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様には、大変お世話になり感謝しております。本当にありがとうございました。

調布市立第三小学校 用務 高坂 隆司

第五中学校の生徒の皆さん 図書室で「この本面白かったです。」「これは好みではなかった…」など、皆さんと接したときのこと、いちばん思い出に残っています。“NO BOOK NO LIFE” 読書は毎日に彩をそえてくれます。3年間、ありがとうございました。

図書館司書 久保木 明子

五中には九ヵ月という短い期間でしたが、お世話になりました。授業内や放課後学習を通して、皆さんと一緒に過ごした時間はとても楽しく、充実した日々でした。五中生との出会いに感謝しています。皆さんお元気で。

スクールサポーター 圓地 芳子



□■ 4月の生徒指導の重点 ■□

「基本的な生活習慣を確立して秩序ある学校を目指す。」

- 1 時間を大切にする。
- 2 規則を守り、マナーを向上させる。
- 3 時と場に応じた丁寧なあいさつを行い、気持ちよい学校生活を送る。



4月に取り組む予定でした。家庭で実践してみてください。

